



「第2回日中友好交流ピンポン大会」開催



決勝戦(張氏×丹羽氏)

日中友好交流ピンポン大会の開催

上海日本商工クラブ社会貢献委員会及び文化交流委員会の共催、上海市对外服务有限公司(以下、FESCO)の協力により、9月21日(日)に静安寺体育館唐薇依卓球場で「日中友好交流ピンポン大会」が開催された。中国側からは、当商工クラブの協賛・支援の下、上海市政府機関及び事業組織の職員向け研修としてFESCOの国際人材トレーニングセンターを実施組織として開講した「上海政府公務員

日本語クラス」の研修生及び卒業生約30名が参加し、日本側からは、両委員会及び理事会メンバー企業から日本人を中心に約30名が参加した。

「公務員日本語クラス」について

「上海政府公務員日本語クラス」は、日本語の基礎会話能力の習得とともに、日本語学習を通じた日本文化への理解を深めることを目的に2001年10月に開講し、これまでに上海市政府機構50団体、延べ500人余りの研修生が受講し

ている。研修生は民政局、商務委員会、人材資源社会保障局、出入国管理局、建設交通委員会、政府外事弁公室等組織の幹部及び中堅職員であり、上海政府と日本企業間のコミュニケーションの架け橋となることも期待される。これまでに、開講10周年を記念した交流パーティーを実施した他、昨年は、第1回目の日中友好ピンポン大会を開催している。

試合ルール

大会当日は、中村事務局長の挨拶で開会すると、約60名の参加者は16のグループに分かれ、一回戦はグループ毎に総当たり戦を行った。各グループは4～5名で構成され、日中双方の選手がバランス良く混じるよう事前にくじ引きでグループ分けを行った。二回戦は、各グループから上位2名が参加し、以降トーナメント戦とした。試合はすべて3ゲーム制の2ゲーム先取、1ゲーム11本先取とした。

試合の結果と日中文化交流

日中ほぼ同数の選手がトーナメントを勝ち進み、決勝戦は、前大会の優勝者であり日本語クラス第一期生で元社会団体管理局総合処長の張志平氏と、今大会初出場となる富士フィルム(中国)駐在



①事前打ち合わせをする審判団 ②2位の張氏(左から2番目)と3位の山口氏(同3番目) ③会場の様子 ④三位決定戦(山口氏×岡氏) ⑤谷口社会貢献委員長(左)から丹羽氏へ優勝トロフィーの贈呈 ⑥入賞者の表彰 ⑦日中友好ピンポン大会集合写真

員の丹羽清司氏との戦いとなった。ピンポン本場の国で40年以上に渡って毎週ピンポンを継続している張氏と、学生時代より卓球部に所属し駐在の地でも練習を続けてきた丹羽氏により繰り広げられるハイレベルな戦いに、会場は大いに盛り上がった。結果は丹羽氏の優勝となったが、両名の健闘に暖かい拍手が送られた。表彰式では、中国ピンポンナショナルチームのスポンサーでもある上海ミズノより提

供された賞品が手渡された。表彰式終了後には、会場を移し、交流懇親会が開催された。

日中双方の参加者から好評を得た第1回大会に続き、今大会では協賛企業(右記表参照)の協力も得、参加者がともに爽やかな汗を流すことで交流を深めることができた。当商工クラブでは、今後もこの日本語クラスが上海市と日本企業を結ぶ架け橋であり続けられるよう支援を続ける

とともに、様々な交流活動を通じて、日中の文化交流拡大に貢献して行きたい。

表 賞品提供企業一覧(順不同)

上海住友商事有限公司
上海ミズノ有限公司
富士フィルム(中国)投資有限公司
三井住友海上火災保険(中国)有限公司
三菱電機機電(上海)有限公司